

茅ヶ崎市記者発表資料
 2023年2月24日
 財務部財政課 課長 小島 敦
 電話 0467(82)1111 内線2599
 企画部秘書広報課 課長 渡辺 武
 電話 0467(82)1111 内線1549
 東海岸小学校 校長 山井 美奈子
 電話 0467(87)1351

ふるさと納税プロジェクト

～東海岸小学校 F N P～


ふるさと納税新規返礼品の登録とふるさと納税ロゴマークの誕生

市は、市立東海岸小学校（山井美奈子校長、児童数 830 人）6 年 4 組から提案を受けた「ふるさと納税プロジェクト（別紙参照）」による新規返礼品を登録するとともに、ふるさと納税ロゴマークの贈呈を受けます。ふるさと納税に関するプロモーション活動でこのロゴマークを活用し、ふるさと納税を通じて市の魅力向上を図ります。

1 ふるさと納税新規返礼品の登録

東海岸小学校 FNP で小学生が検討した返礼品候補を提供している事業者に対し、市が小学生と一緒に提案を行い、提案趣旨に賛同いただいた次の品を返礼品として新たに登録します。

○柳島キャンプ場（茅ヶ崎市柳島海岸 1592-1）（2月9日から取り扱い開始）


返礼品の名称	寄付額	概	要
ちがさき柳島キャンプ場 セットアップテントで森林浴キャンプ	27,000 円	ちがさき柳島キャンプ場内テントサイトで、テント・タープ・テーブルが設置された状態でお貸しする常設のセットアップテントプランの無料引換券	

[提案をした小学生の想い]

- キャンプがブームで、海の近くのキャンプ場はとても人気があります。柳島キャンプ場に来てもらい、茅ヶ崎市が有名になることが期待できると思います。

○コワーキング&ライブラリー C の辺り（茅ヶ崎市中海岸 3-12986-25）

（3月1日から取り扱い開始）

返礼品の名称	寄付額	概	要
コワーキング 1 日利用券【3,000 円分】	10,000 円	全席から海が眺められるコワーキングスペースで、快適なお仕事を。全 20 席、Wi-Fi・電源完備、個室ブースも利用可	
コワーキング 1 日利用 5 回券【10,000 円分】	34,000 円		
コワーキング 1 ヶ月間利用券【20,000 円分】	67,000 円		

[提案をした小学生の想い]

- 新型コロナウイルスが流行り在宅ワークでどこでも仕事ができるようになりました。海まで徒歩 30 秒のコワーキングスペースを起点に、海岸でゆったり読書をしたり作業をしたりして、うまく気分を変えながら仕事ができる茅ヶ崎の魅力を感じてほしいです。

2 ふるさと納税ロゴマーク

東海岸小学校 FNP の一環で、市内在住アーティストの Ryu Ambe 氏に小学生がふるさと納税のロゴマークの制作を依頼し、茅ヶ崎市のふるさと納税ロゴマークが誕生しました。市はこのロゴマークの贈呈を受け、今後のふるさと納税に関するプロモーション活動の中で活用し、本市の魅力を発信します。



Ryu Ambe 氏が制作した茅ヶ崎市ふるさと納税ロゴマーク

○ロゴマーク製作にあたって小学生が Ryu Ambe 氏にお願いした点

- 見た人が「茅ヶ崎だ！」と分かるようなロゴマークにして欲しい。
- 烏帽子岩やふるさと納税の返礼品にあるものを入れて欲しい。

○想定するロゴマークの活用シーン

- ふるさと納税ホームページへの掲載
- ふるさと納税ポータルサイトへの掲載
- 寄付者に対するお礼状への掲載 等

○Ryu Ambe 氏のプロフィール

市立東海岸小学校卒、茅ヶ崎育ち。アメリカンコミックを思わせる作風で、次々に新しいキャラクターを生んでいる。オリジナリティ溢れる色とキャラクターで、これまで、数々のアパレルブランドや音楽フェスなどとコラボレーション、時には街やホテルの壁画、ショップのウィンドウ、また平面的な素材ばかりでなく、ビン、ビーチストーン、流木など立体的な物へ描写を通し作品を発表し続けている。

東海岸小学校ふるさと納税プロジェクト（FNP）の概要

市立東海岸小学校6年4組では、総合的な学習の授業でふるさと納税プロジェクト（FNP）を立ち上げ、次のとおり取り組みました。

1. 現状の把握と活動の方向の決定

- 茅ヶ崎市のふるさと納税の現状を調査（茅ヶ崎市はふるさと納税の流出額が多く、大幅なマイナスであることを知る）
- グループごとにふるさと納税が人気の自治体に電話して人気の理由を調査
- クラス内でそれぞれのグループの調査結果を共有する報告会を実施



次のとおり活動の方向を決定

- 茅ヶ崎の強みはモノではなくコトなので、コトを重視した新規の返礼品を考える
- 茅ヶ崎のふるさと納税を多くの人にPRする方法を考える

2. ちがさき・さむかわこどもファンドに参加

- ちがさき・さむかわこどもファンド※に ShoNan スマイリーとして参加し、「FNP」を提案
- 公開審査を経て、ファンドの補助事業として採択される

※ちがさき・さむかわこどもファンド

- 認定特定非営利活動法人 NPO サポートちがさが主催。
- 茅ヶ崎市と寒川町の小学3年生から17歳までのこども3人以上のグループが考えた、自分たちのまちがもっとよくなるために、友だちと力を合わせて自分たちで考え、取り組む活動を公開審査会でプレゼンし、こども審査員が助成するかどうかを決定。最大5万円の活動資金を提供する民間初の仕組み。
- 2022年度はFNP以外に7つのプロジェクトを支援

3. 新しい返礼品の提案

- 茅ヶ崎市へのふるさと納税の寄付額の増加を図るため、コトを中心に訴求力の高い返礼品を追加することを検討
- 児童が考えた新規の返礼品を市職員に提案
- 市職員と一緒に事業者を訪問し、ふるさと納税の返礼品に追加していただくよう提案



“Cの辺り”に新規の返礼品を提案している様子

4. ふるさと納税ロゴマークの提案

- 茅ヶ崎市の魅力を全国にPRする手段として、ふるさと納税のロゴマークを作ることを検討
- 市内在住アーティストのRyu Ambe氏にロゴマークの制作を依頼
- 完成したロゴマークを市に贈呈し、市が今後のふるさと納税に関する活動の中で活用